

服薬指導計画 ～プロブレムリストを用いた服薬指導～

株式会社 アルファーム

○牧野 幹生 高橋 彰 大貫 弘美 新井 智子
富永 京子 橋本 恵子 小澤 由恵 田口 雅一

はじめに

日常の服薬指導において、処方医の思惑通りきちんと安全に薬を飲んでもらうことは、治療を効率よく進める為に必要な事であり、薬剤師の重要な職責である。今回、一部の患者についてプロブレムリストを用いた服薬指導を行う。処方薬内容から、薬効説明、副作用の注意・確認にとどまらず、飲み方の提案・アドバイスをを行い、患者自身の問題、患者背景などにも着目して踏み込んだ服薬指導を行う。プロブレムリストを用い問題点を列挙。問題点それぞれに到達目標を設定し、内容の定期的な見直し・評価を行っていく。患者には問題点を認識してもらうことで、治療効果の向上を図る。また、薬局内で患者情報の共有を図り、質の高い服薬指導を薬局内全ての薬剤師から提供できるような環境作りができないだろうかと考えた。

目的

- 薬局内で患者情報の共有を図り、すべての薬剤師から質の高い服薬指導を提供。
- 患者から信頼・安心感をもって接して頂けるような環境作り。

方法

薬局内症例検討を行ない、プロブレムリストを作成。副作用や服薬上の問題点を挙げ、対応方法や指導・経過観察事項を検討。観察事項を次回来局時の服薬指導に繋げていきます。問題点については適時薬局内で評価・見直しを行って新たにリストを作成します。解消したものは解決事項として記録を残していきます。

結果

- 薬剤師間で患者情報の共有ができ、服薬指導がスムーズに行えた。
- 問題点の指摘・相談などにより患者から安心感を持って話をして頂けるようになった。
- 服薬コンプライアンスの向上に繋がった。

考察

『全ての薬剤師から同質の医療サービスを提供すること』と、『病気の認識から治療効果向上を図ること』が目的にあった。患者情報の充実は、「どんな患者様だったか？」など、薬剤師の投薬時の不安をなくし、薬局内症例検討は、どういった方向で服薬指導をしていくかを薬局内ではっきりさせるものとなり、目標があって指導を行なうことから、毎回の指導内容にブレがなくなり、患者様も病気の事以外の色々な話もして頂けるようになった。安心感を持って来局頂けるようになったと考える。飲み方の確認や、飲み忘れについても進言しやすい関係が出来ていくものと考えます。信頼関係を築き、維持し続ける。症例検討・プロブレムリストを用いた服薬指導は、かかりつけ薬局・地域の健康相談窓口となるための必要な方法の一つであると考えます。

課題

細かく患者様に対応していくため、1人当たりの投薬時間が長くなってしまい、結果として待ち時間が長くなってしまいう事態も見受けられた。今後は、医療機関の休診時に行っている他店舗で検討・実行中の「お薬相談室」など、時間の余裕をもって対応できるような仕組みにも取り組みたい。現在、来局する全患者については対応できていない。症例検討やリスト作成など、時間的な要素を考えたときに、症状・病状的にどこまでの患者様についてリストを活用するかということを決めるのも今後の課題となっている。現状、今回の発表の形では電子薬歴への反映の仕方が確立されていない。SOAP形式ではプロブレムも記載できるが、表示スペースや経過・問題点の表示方法は検討中である。

症例1

プロブレムリストを用いた服薬指導

患者情報
 性別: 女性
 年齢: 64歳
 職業: 専業主婦
 病歴: 糖尿病、高血圧、脂質異常症、慢性腎臓病、認知症
 服薬: 糖尿病薬、降圧薬、降脂薬、認知症薬、ビタミン剤

経過・現状
 2023年10月10日、初診。慢性腎臓病の悪化を心配し、腎臓科を受診。インスリン注射は2023年9月1日から週1回開始。血糖コントロール良好。慢性腎臓病はステージ3。腎臓科からは、降圧薬、降脂薬、認知症薬の処方。糖尿病薬は、血糖コントロール良好。慢性腎臓病は、腎臓科からは、降圧薬、降脂薬、認知症薬の処方。糖尿病薬は、血糖コントロール良好。

| No. | 問題点 | 内容 | 解決策/指導項目 |
|-----|----------|-----------------------------------|----------------------------|
| 01 | 血糖コントロール | インスリン注射の投与量が適切かどうかを確認。血糖コントロール良好。 | 血糖コントロール良好。インスリン注射の投与量は適切。 |
| 02 | 降圧薬 | 降圧薬の投与量が適切かどうかを確認。降圧薬の投与量は適切。 | 降圧薬の投与量は適切。降圧薬の投与量は適切。 |
| 03 | 降脂薬 | 降脂薬の投与量が適切かどうかを確認。降脂薬の投与量は適切。 | 降脂薬の投与量は適切。降脂薬の投与量は適切。 |
| 04 | 認知症薬 | 認知症薬の投与量が適切かどうかを確認。認知症薬の投与量は適切。 | 認知症薬の投与量は適切。認知症薬の投与量は適切。 |
| 05 | ビタミン剤 | ビタミン剤の投与量が適切かどうかを確認。ビタミン剤の投与量は適切。 | ビタミン剤の投与量は適切。ビタミン剤の投与量は適切。 |

症例2

プロブレムリストを用いた服薬指導

患者情報
 性別: 男性
 年齢: 61歳
 職業: 会社員
 病歴: 糖尿病、高血圧、脂質異常症、慢性腎臓病、認知症
 服薬: 糖尿病薬、降圧薬、降脂薬、認知症薬、ビタミン剤

経過・現状
 2023年10月10日、初診。慢性腎臓病の悪化を心配し、腎臓科を受診。インスリン注射は2023年9月1日から週1回開始。血糖コントロール良好。慢性腎臓病はステージ3。腎臓科からは、降圧薬、降脂薬、認知症薬の処方。糖尿病薬は、血糖コントロール良好。慢性腎臓病は、腎臓科からは、降圧薬、降脂薬、認知症薬の処方。糖尿病薬は、血糖コントロール良好。

| No. | 問題点 | 内容 | 解決策/指導項目 |
|-----|----------|-----------------------------------|----------------------------|
| 01 | 血糖コントロール | インスリン注射の投与量が適切かどうかを確認。血糖コントロール良好。 | 血糖コントロール良好。インスリン注射の投与量は適切。 |
| 02 | 降圧薬 | 降圧薬の投与量が適切かどうかを確認。降圧薬の投与量は適切。 | 降圧薬の投与量は適切。降圧薬の投与量は適切。 |
| 03 | 降脂薬 | 降脂薬の投与量が適切かどうかを確認。降脂薬の投与量は適切。 | 降脂薬の投与量は適切。降脂薬の投与量は適切。 |
| 04 | 認知症薬 | 認知症薬の投与量が適切かどうかを確認。認知症薬の投与量は適切。 | 認知症薬の投与量は適切。認知症薬の投与量は適切。 |
| 05 | ビタミン剤 | ビタミン剤の投与量が適切かどうかを確認。ビタミン剤の投与量は適切。 | ビタミン剤の投与量は適切。ビタミン剤の投与量は適切。 |

症例2

プロブレムリストを用いた服薬指導

患者情報
 性別: 女性
 年齢: 64歳
 職業: 専業主婦
 病歴: 糖尿病、高血圧、脂質異常症、慢性腎臓病、認知症
 服薬: 糖尿病薬、降圧薬、降脂薬、認知症薬、ビタミン剤

経過・現状
 2023年10月10日、初診。慢性腎臓病の悪化を心配し、腎臓科を受診。インスリン注射は2023年9月1日から週1回開始。血糖コントロール良好。慢性腎臓病はステージ3。腎臓科からは、降圧薬、降脂薬、認知症薬の処方。糖尿病薬は、血糖コントロール良好。慢性腎臓病は、腎臓科からは、降圧薬、降脂薬、認知症薬の処方。糖尿病薬は、血糖コントロール良好。

| No. | 問題点 | 内容 | 解決策/指導項目 |
|-----|----------|-----------------------------------|----------------------------|
| 01 | 血糖コントロール | インスリン注射の投与量が適切かどうかを確認。血糖コントロール良好。 | 血糖コントロール良好。インスリン注射の投与量は適切。 |
| 02 | 降圧薬 | 降圧薬の投与量が適切かどうかを確認。降圧薬の投与量は適切。 | 降圧薬の投与量は適切。降圧薬の投与量は適切。 |
| 03 | 降脂薬 | 降脂薬の投与量が適切かどうかを確認。降脂薬の投与量は適切。 | 降脂薬の投与量は適切。降脂薬の投与量は適切。 |
| 04 | 認知症薬 | 認知症薬の投与量が適切かどうかを確認。認知症薬の投与量は適切。 | 認知症薬の投与量は適切。認知症薬の投与量は適切。 |
| 05 | ビタミン剤 | ビタミン剤の投与量が適切かどうかを確認。ビタミン剤の投与量は適切。 | ビタミン剤の投与量は適切。ビタミン剤の投与量は適切。 |

症例4

プロブレムリストを用いた服薬指導

患者情報
 性別: 女性
 年齢: 64歳
 職業: 専業主婦
 病歴: 糖尿病、高血圧、脂質異常症、慢性腎臓病、認知症
 服薬: 糖尿病薬、降圧薬、降脂薬、認知症薬、ビタミン剤

経過・現状
 2023年10月10日、初診。慢性腎臓病の悪化を心配し、腎臓科を受診。インスリン注射は2023年9月1日から週1回開始。血糖コントロール良好。慢性腎臓病はステージ3。腎臓科からは、降圧薬、降脂薬、認知症薬の処方。糖尿病薬は、血糖コントロール良好。慢性腎臓病は、腎臓科からは、降圧薬、降脂薬、認知症薬の処方。糖尿病薬は、血糖コントロール良好。

| No. | 問題点 | 内容 | 解決策/指導項目 |
|-----|----------|-----------------------------------|----------------------------|
| 01 | 血糖コントロール | インスリン注射の投与量が適切かどうかを確認。血糖コントロール良好。 | 血糖コントロール良好。インスリン注射の投与量は適切。 |
| 02 | 降圧薬 | 降圧薬の投与量が適切かどうかを確認。降圧薬の投与量は適切。 | 降圧薬の投与量は適切。降圧薬の投与量は適切。 |
| 03 | 降脂薬 | 降脂薬の投与量が適切かどうかを確認。降脂薬の投与量は適切。 | 降脂薬の投与量は適切。降脂薬の投与量は適切。 |
| 04 | 認知症薬 | 認知症薬の投与量が適切かどうかを確認。認知症薬の投与量は適切。 | 認知症薬の投与量は適切。認知症薬の投与量は適切。 |
| 05 | ビタミン剤 | ビタミン剤の投与量が適切かどうかを確認。ビタミン剤の投与量は適切。 | ビタミン剤の投与量は適切。ビタミン剤の投与量は適切。 |

連絡先

皆様のご意見を頂戴して、これからも改善していきたいと思っております。
 ご意見、ご感想をいただける方は下記までご連絡をお願い致します。
 アルファーム薬局 清原台店 〒321-3223 栃木県宇都宮市清原台6丁目1-14 TEL 028-670-2331 FAX 028-667-1670
 E-mail : kiyohara@alpharm.co.jp URL : http://www.alpharm.co.jp